

生物工学国際交流センター (ICBiotech)

海外フィールドスタディ S

令和 2 年度(2020 年度) 募集要項

1. 授業の目的

本科目「海外フィールドスタディ S」は、学生が海外でフィールドスタディに参加し、実習を行うことにより、各学生が海外において自らの専門性を発揮するための基礎的な力を養うことを目的とします。「海外フィールドスタディ S」は、準備から事後学習までの学習プロセスを 学生が主体的にデザインし実行することを支援するとともに、調整力、コミュニケーション力、柔軟性といった、大学院修了後にプロフェッショナルとして自主的に活動し、また他者や他機関と協働するために必要な資質を養うことを目的とし、多角的視点を持って社会を批判的に思考し行動する学生を育成しようとするものです。また、「海外フィールドスタディ S」は、あらかじめ対象として想定している学生の専門分野や志向もコースごとに限定し、学生が実習後の実際の研究の展開やキャリア形成の上で必要と思われる特定のテーマに絞って実習をおこなうことに特徴があります。さらに、同じ分野に学ぶ海外の学生との協働や交流も重要な目的となっています。

2. 実習地域・期間

タイ・2020 年 8 月 2 日 (日) ~2020 年 9 月 6 日 (日) (36 日間)

3. 履修条件・受講条件

(1) 選考と履修

本科目では、選考を経て参加が決定した者が履修登録、実習参加を行うものとします。

3 月 6 日 (金) 「海外フィールドスタディ S 募集要項・履修申込書」を生物工学国際交流センター ウェブサイトに公開

履修申込の受付開始 (履修申込の詳細は「7. 履修申込要領」を参照)

4 月 3 日 (金) 15 時 履修申込み期限

4 月 10 日 (金) まで 履修決定者に連絡

※上記日程は予定であり、都合により変更となる場合があります。

(2) 参加費用と奨学金について

本科目の海外実習については、費用の一部補助 (2019 年度実績 140,000 円) があります。詳しくは 5 月上旬に開催予定の説明会で説明します。必要経費目安額は次のとおりです。この額から、補助額を除いた額が自己負担となる金額です。

必要経費目安額 (タイ) 220,000 円

※ただし、諸事情により目安額は上下する可能性があります。

※国費留学生など外国籍参加者は、JASSO からの奨学金が受けられませんので、全額自己負担となります。

4. 定数

25 名

5. 講義内容

【到達目標】

- (1) 海外フィールドスタディの訪問先に関する情報を自ら収集し、課題を発見できるようになる。
- (2) 海外フィールドスタディの内容を検討、準備できるようになる。
- (3) 海外フィールドスタディ活動において、実践的な活動に積極的に参加することができる。
- (4) 海外において現地の人々や専門分野の異なる学生と経験を共有することにより、諸現象に対する多角的な視点を持ちながら協働できるようになる。
- (5) 海外での経験から学んだことを基に、自身の専門分野における研究やその後のキャリアプランにどのように活かすか思考できるようになる。

【本科目の内容】

●スケジュール

5月上旬 説明会

5月～7月 事前学習

6月～7月 リスク管理についての講義、研究計画事前発表会、渡航直前オリエンテーション

●テーマ

「生物資源と環境」

本プログラムは、「生物資源と環境」をテーマとして、関連分野を専攻する日本・タイの学生を大阪大学と交流先4大学との間で相互に派遣・受入れし、ラボ及びフィールドでの実習を中心として研究能力の向上を図り、生物資源の問題（特に「生物多様性」）を共同で協議して相互理解を深めるものです。大阪大学生物工学国際交流センターと大阪大学大学院工学研究科が共同して実施し、タイの4つの大学からなるコンソーシアム（マヒドン大、KMUTT、カセサート大、チュラロンコン大）と連携して構築・実施する海外ラボ・スタディ・プログラムです。

対象は、「生物資源と環境」に関連するテーマについて学ぶ大阪大学の博士前期課程及び後期課程の学生とします。生物多様性とバイオテクノロジーの研修に興味のある方を広く歓迎します。

●事前学習（授業時間および実習出発前）

海外フィールドスタディの訪問先の歴史や地域事情、テーマについて学習します。また、フィールドワークの実践と倫理ならびにリスク管理に関する講義では、訪問先での行動に関する留意事項や安全衛生についての指導を行います。

●現地実習（8月～9月）

現地の大学で、自分の研究計画に基づき、バイオテクノロジーに関してラボでの実習を中心に研修を行います。実習期間中は、日々の学習活動の振り返りを参加者間で行うとともに、研究の成果を発表します。

●事後学習（帰国後）

事前学習と現地実習を踏まえ、レポートの提出等によって研究の総括を行います。

6. 成績評価

- ・ 授業への参加（積極性、提出物など） 30 点
- ・ 海外フィールドスタディへの参加（研究発表、報告、提出物など） 50 点
- ・ 海外フィールドスタディ実施報告 20 点

7. 履修申込要領

指定のウェブサイトから履修申込書をダウンロードし、必要事項を入力後に印刷し、指導教員の確認印をいただいた上で、原本を生物工学国際交流センター事務室へ提出してください。必ず TOEIC / TOEFL スコアシート（写し可）、前年度の成績証明書（原本）も併せてご提出ください。

なお、KOAN への履修登録は、履修者決定後に生物工学国際交流センター事務室にて行います。

【履修申込書掲載 URL】

<http://www.icb.osaka-u.ac.jp/>

※工学研究科の生物工学専攻（令和2年4月設置予定）以外の専攻所属の学生は、「他専攻の授業科目履修申請書」を所属専攻に提出の上、上記7の履修申込要領に沿って履修申込みをしてください。

※工学研究科以外の研究科所属の学生は、「他研究科等の授業科目履修申請書」にあたる書類を所属研究科に提出の上、上記7の履修申込要領に沿って履修申込みをしてください。

※登録単位数に上限を設けている研究科もありますので、ご注意ください。

【履修申込み締切日】 2020年4月3日（金）15時

8. その他

研究を実施する大学・宿舎の手配・部屋割り・派遣研究室の割り当てについては、参加者の希望聴取を行います。全員のご希望には添えない可能性もありますので、あらかじめご了承願います。

9. 参考資料

以下の URL に過去の海外フィールドスタディ（海外留学支援制度）の様子が掲載されていますので、ご参照ください。

<http://www.icb.osaka-u.ac.jp/sssv4.html>

10. 問い合わせ先

生物工学国際交流センターセンター長 藤山和仁

[fujiyama\[at\]icb.osaka-u.ac.jp](mailto:fujiyama[at]icb.osaka-u.ac.jp)

[at]はアットマークに変換してください。

※件名は「海外フィールドスタディ S 問い合わせ」としてください。